



榎原チャレンジ! 一歩へ

下郷町立榎原小学校
学校だより No.46
令和3年2月15日
文責:校長 酒井 健

◇東日本大震災を彷彿する激しい揺れでした。

先日13日(土)、午後11時08分、突然の激しい揺れがありました。私は郡山市の自宅にいましたが、郡山市は震度6弱・・・食器棚から、皿やコップが勢いよく飛び出し、割れて床に散らばり、本棚は倒れて本が散乱し・・・という状況でした。下郷町は震度4でしたが、皆様のご自宅は大丈夫だったでしょうか。お怪我はありませんでしたか。

今回の地震は、マグニチュード7.3、震源の深さ55Km、プレート境界より深い場所で起きました。東日本大震災の余震ということです。10年が経過しての突然の余震という事実に驚きました。

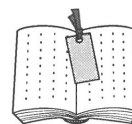
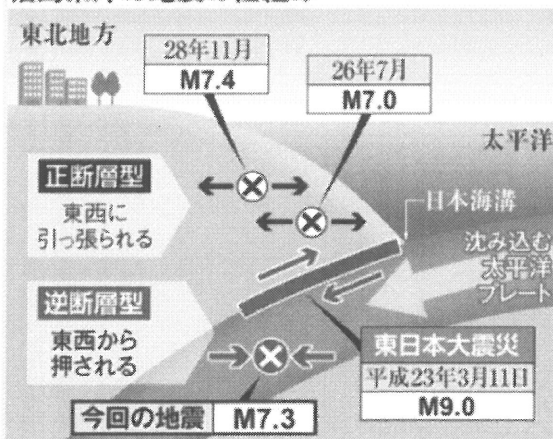
10年前の大震災の大きな揺れの恐怖、そして、そこから学んだこと、防災への意識・・・、様々なことを胸にこれまで生活していたつもりでしたが、10年という長い時間の中で、実は、薄れてしまっていたのかも知れません。

今回のこの地震は、あらためて、防災の大切さ、自然災害への備えを考えさせられたように感じます。

今後も、震度6強程度の余震が発生する可能性があるとのこと。下郷町では、揺れに伴い屋根からの落雪があることも考えられます。十分にお気を付けください。

学校でも、子どもたちの安全・安心のために指導をしてまいります。

福島県沖の地震の仕組み



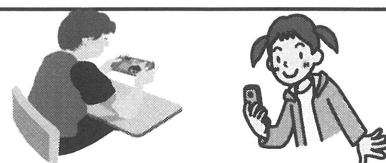
◇「読書量」と「ゲーム依存・ネット依存」との反比例現象?

先日、次のようなアンケート結果が出ました。全国の話でも、福島県の話でもなく、榎原小学校の子どもたちの結果です。下郷町において、「読書活動推進計画」に伴うアンケート調査がありました。いくつかの項目の中で、【12月の家庭での読書量】という項目がありました。結果は次の通りです。

- 12月に家庭で1冊も本を読んでいない 33人 (全校生の37.5%)
- その理由は何ですか ネットやゲームの方が楽しい・・・ほとんどがこの理由です。

今年度、全校生を対象に「SNS・ゲーム等の実態調査」も行いましたが、その中で、こんな結果が出ています。これも榎原小学校の子どもたちの実態です。

- 平日、どのくらいゲームやネットに時間を費やしているか。
3~4時間 8.6% 5時間以上 4.3%
- 土日、どのくらいゲームやネットに時間を費やしているか。
3~4時間 11.4% 5時間以上 12.9%



ここから言えることは・・・、ご覧の通りです。「読書量は減り、その代わりにゲームやネットに費やす時間は増える」ということです。反比例の現象ですね。子どもたちをネット依存、ゲーム依存にはさせない、ルールを決めて守らせる、良書にめぐり合わせる・・・子どもたちにしてあげられるのは、私たち、大人なんですね。ご家庭でも子どもたちへの言葉かけをお願いいたします。

校長のひとりごと

私、料理を始めました。今まで何を食べていたの? と言われそうですが、これまでは、料理は一度もしたことがありませんでした。今、弥五島の教員住宅で単身赴任生活をしていますが、電子レンジ、フル活動状態でした。それが、なんとIH用のフライパンと鍋を、先日たて続けに購入し、何か作りたいという思いが沸き起こりました。人生初の料理です。とは言っても、メニューは、限られています。でも、自分で作るっていいですね。おいしく感じます。今晩は何がいいかなと考えるのも、また楽しいものです。「自分に挑戦している」今日この頃です。